



ガラマンジャクの桜並木（ウククビ川旧国道）

## 4月1日より議会会議録検索システムがスタート

### 主な内容

平成17年第12回定例会 .....	2 P
一般質問 .....	3～11 P
仲里 全孝    宇久田朝仁    小波津 隆    仲間 清    知名 達也    仲間 昌信	
東 寛治    伊芸 武吉    山城 清盛    外間現一郎    仲間 政治	
議員研修会・第11回臨時会 .....	12 P

# 第12回 定例会

## 補正予算(第6号)を可決!!

一般会計 **1億4,139万円** 国保特別会計 **4,502万1千円**

平成17年第12回定例会が12月15日から20日までの日程で開催されました。

定例会では、一般会計・特別会計補正予算や同意案件など9件が上程され、全ての議案を原案のとおり可決しました。

また、基地問題や最終処分場建設問題を中心に、11名の議員が一般質問を行った。

### 平成17年 第12回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第73号	平成17年度金武町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第74号	平成17年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第75号	土地の処分について	原案可決
議案第76号	金武町堆肥センター事業検討委員会の設置及び運営に関する条例の制定について	原案可決
議案第77号	金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第78号	土地の取得について	原案可決
議案第79号	金武町道路線の変更について	原案可決
同意第4号	金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第5号	金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
意見書第7号	患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める意見書	可決
意見書第8号	「2年課程通信制」養成所の早急な開設を求める意見書	可決
陳情第12号	患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情書	みなし採択
陳情第13号	准看護師が看護師の受験資格を得るための「2年課程通信制」養成所の早期開設を求める陳情書	みなし採択

### 固定資産評価審査委員会委員を選任

第12回定例会において、地方税法第423条第3項の規定により町当局から提案のあった固定資産評価審査委員会委員の選任について、下記の2名を選任することに同意した。

任期は3年間で、平成17年12月20日から平成20年12月19日まで。

\*山田 政和(金武町字金武10200番地)

\*伊芸 盛孝(金武町字屋嘉2259番地)

# 一般質問

※質問・答弁は要約 本会議質問順に掲載



仲里 全孝 議員

## 島田懇談会事業について

ギンバル開発に関する  
島懇事業費はいくらか

町長 七十五億円を計画

仲里議員 「跡地利用・土地問題・ヘリパッド移設」をワンセットと町長は述べているが、原則十九年度までの期限措置は、施設計画が決まれば予算は確保されるのか。

町長 ギンバル訓練場は跡地利用として島田懇談会事業の予算枠は確保されている。これまで、基本構想・全体計画、調査等を実施し

二〇〇六年度までの概算要求も承認されている。

仲里議員 総事業費はいくらか。

町長 島田懇談会事業費については補助金ベースで七十五億円を計画しており、総事業費としては他の補助事業の活用も検討し、約百四十億から百五十億円と想定している。

仲里議員 ギンバル訓練場の大部分は私有地であり、返還の際にキャンプ・ハンセン内の町有地との等価交換で、地主に不利益が生じないように配慮する方針とのことであるが、進捗状況は。

町長 跡地利用に関する地権者説明会の中で等価交換を進める旨の説明を行った。

今後、地主会を設立した中で合意形成を行っていく予定である。また、関係団体への説明会も予定している。

## 国道金武バイパスについて

町道二号線のバイパス

と併せた整備状況は

町長 十九年度〜二十一年度に工事を計画

仲里議員 北部振興事業において、JA金武支店を起点とし、総合保健福祉センター入口から同バイパスを終点とする町道一一一号線の道路拡幅等道路改築事業が採択されたが、同バイパスと併せた整備の進捗状況は。

町長 町道一一一号線の改築事業は、平成十七年度から二十年度に用地購入と物件補償、平成十九年度から二十一年度に工事計画である。

仲里議員 大きな幹線となる国道バイパスの工事が進

んでいないような状況であり、朝の渋滞が続いている。ひどいときは屋嘉の方まで続いているが、伊芸・屋嘉の生徒が渋滞に巻き込まれた場合に学校ではどのような対応をしているか。

学校教育課長 遅刻として取り扱う。万一、事故等による渋滞に巻き込まれた場合は、電話連絡等で適時に判断する。



国道金武バイパス全域

その他質問事項  
・億首ダム建設工事の早期着工について



宇久田 朝仁 議員

## 公衆トイレについて

洋式トイレへの

取替え要望があるが

町長 改善に努める

宇久田議員 金武児童公園、モーシの森公園、町営グラ

ウンドなどのトイレはほとんどが和式であり、ゲートボール等で使用する老人会等から洋式への取り替えの要望があるが、町内全体の公衆トイレも含め取り替える考えは。

町長 平成十五年度にも老人会等から要望があり、取り替えている。今後も公共施設のトイレについては、改善に努めていきたい。

**宇久田議員** 金武公会堂前

や金武地区公園等を含め、全体の状況を把握しているか。

**建設課長** 今後調査をして、いきたい。

**道路整備について**

**金武町と恩納村とを結ぶ道路を新設する考えは**

**町長** 考えていない

**宇久田議員** 恩納村（大学院大学）とを結ぶ道路を新設する考えはないか。また、町道屋嘉四十二号線の改良工事をする考えはないか。

**町長** 大学院大学を結ぶ道路については、既存の県道八十八号線、町道屋嘉四十二号線を念頭においており、新設については考えていない。屋嘉四十二号線の改良工事については、関係機関と調整し、検討していきたい。

**宇久田議員** 屋嘉四十二号

線はご存知のとおり、曲がりくねって急な上り・下り

坂が続く大変危険である。過去にも一般質問で取り上げたが、交通量や町の財政状況を踏まえて検討することであったが、何年後に検討するのか。

**助役** 今すぐ何年度ということ

ことは答弁できないが、恩納村とも調整して対応して



**小波津 隆 議員**

**町長** ホームページ公開の遅れている理由及び行政サービスの改善の取り組みについて

**町長** 衆議院総選挙による作業の一時中断

**小波津議員** ホームページに関連する補正予算が可決されてから半年経過しているが、未だ作業成果を確認

いきたい。

**宇久田議員** 観光客を誘致

するためには、道路整備が必要だと思う。現在の道路は危険であり、事故が起こる前に早めに改良工事を進めて欲しいが。

**町長** 複数の市町村にまた

がった道路についての事業計画についても、国の方で対応できるということなの

するに至っていない。遅れている理由は何か。

**町長** 衆議院総選挙事務を行うためである。担当職員がホームページと選挙事務

の両方を受け持っているため、作業を一時中断した。

**小波津議員** 別の職員がサポートすることは出来なかったのか。

**総務課長** 検討はしなかった。それなりに熟知した方でないといけない面があるのかということもあり、中断という形をとった。

で、現在沖縄総合事務局との話し合いを進めている。

恩納村と本町の考え方を出して、どういった形で実現が可能なのかということと、2町村で出来るということ、補助メニュー等の在り方を含め、総合事務局に問い合わせをしながら速やかに対応していきたい。

**小波津議員** 以前、各課で取り組むことをあげていた

だいたが、その後の状況は。

**総務課長** お知らせ等を随時掲載、更新している。

**企画課長** 基地関係を掲載している。その他についてはリニューアル後に業務内容を含め掲載していく。

**基地跡地推進課長** 工事期間や場所等を掲載している。

**建設課長** 去年と特に変わった様な取り組みはされていない。

**産業振興課長** 各行事等を



町道屋嘉42号線

随時掲載、更新している。

**社会教育課長** 中央公民館・プール等の行事を随時掲載、更新している。

**学校教育課長** 業務内容のみを掲載している。

**水道課長** リニューアル後に水質検査等を掲載する。

**住民課長** 更新していない。生活環境課長 ゴミ収集日等を掲載している。リ

**保健福祉課長** ガイドブッ

クにあるものについては掲載しているが、随時更新するべきかについては判断していない。

**農業委員会事務局長** 業務内容を掲載している。

**議会事務局** 長 行事予定、議決結果、会期日程等を随時更新している。北部議会や県町村議会議長会等において議決された重要議案の審議状況等も掲載している。



仲間 清 議員

**小浜原の公園整備について**

公園整備をする予定は

**町長** 屋嘉区と調整したい

**仲間議員** 屋嘉小浜原は

以前から公園整備の計画があったと思うが、未だ実現をみない。町のモニユメン

**小波津議員** 町長は最高責任者として指揮管理をして

いるが、問題が発生した場合、職員・住民に対して透明性の改善を含め、どの様な取り組みをしているか。

**町長** 状況の把握、原因の解明、関係者との調整を速やかに、適切な対応を職員に対応させている。業務遂行時に諸問題が発生した場合には、速やかに原因

**総合計画について**

**第三次の検証・報告は検証・評価済み**

解明等を行い、関係住民へ説明し理解が得られるよう誠意を持って対応している。透明性の改善については、行政情報は可能な限り公開に努めていきたいと考えている。

トが位置し、北部地域への玄関口でもあることから、環境整備の一環として公園整備に取り組む考えはないか。

**町長** 村内原に公園整備計画をしているので、その利用計画を考えながら区と調整を図りたい。

**仲間議員** モニユメントを設置したときに、周辺住民から公園整備の要望が出されている。近年その一帯はマンション等が建ち、宅地

**小波津議員** 第三次を検証し報告する必要があると思うが。  
**町長** 基礎調査として部門別進捗状況等の検証・評価を行った。アンケート調査やヒアリング等を行い、調査結果を集約・整理・分析し、地域懇談会等において町民へ報告するとともに、それに対する意見等も伺った。基礎調査等を踏まえ、

**失業対策について**

町としての具体的対策は

**町長** 各種事業等の実施で雇用創出を図る

**仲間議員** 全国的に景気の

低迷が続く、本町でも世代を問わず仕事がなく不安な日々を過ごしている者が多いと聞く。町として失業対策についてどの様な考え方を持っているか。

現在第四次総合計画の策定に向けて審議中であり、その後に総合計画(案)を審議会へ諮問、答申を受けて議会へ提出する際に報告する予定である。

**その他質問事項**

・ 中学校の「悪習」問題の取り組み状況と今後の方針及び中学校との関わりについて

**町長** 平成十七年十月の

沖縄県における完全失業率は、八・八%。本町においては十五・七%と厳しい状況であると認識している。十七年度の本町の失業対策事業は生活環境課執行予算で千二百九十六万四千

円、産業振興課執行予算で二百五十万円、合計千五百四十六万四千円で事業実施をしている。今後、同事業を継続実施するとともに、北部振興事業・沖縄

米軍基地所在市町村活性化特別事業等の実施により町民の雇用の場の創出を図っていききたい。

**仲間議員** 役場へ雇用関係の窓口を設置する考えはないか。

**町長** 新たに単独でという



知名 達也 議員

**堆肥センター  
建設について**

場所選定は適地か

**町長** 利便性等をかながみて、適地として決定した

**知名議員** 堆肥センターの建設予定地は適地ではないと思うが、場所選定の経緯は。

**町長** 家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律が施行されることに伴い、平成十四年度に

設置は現段階では厳しいと思うが、関係課で調整したい。

**仲間議員** 発電所を誘致するときに雇用創出が図られるとのことであったが、現在の状況は。

**企画課長** 樹木の管理、コ

町農業者連絡協議会、平成十五年度に酪農部会、農業青年クラブ、平成十六年度に養豚部会、肉用部会から堆肥センター建設についての要請を受け、事業計画を行ってきた。町内部で検討した結果、農家の利便性

かんがみて大保根原が適地として決定した。

**知名議員** 堆肥センター検討委員会を設置すると思うが、委員会の中で再度、場所の選定について議論する予定はあるか。

**産業振興課長** 委員会で審議されるのは、処理システムに関する事項や機能等、

ンピューターの一部管理等、現在町内業者六、七社がJVを組んで約二十数名を雇用しております。

**仲間議員** 沖縄電力では、町民を優先的に雇用する枠が設けられているのか。

**企画課長** 沖縄電力の正社

直接事業に限ることに限られている。用地等については区から同意が得られているので議論されない。

**知名議員** 建設予定地の近くには、自然体験やギンバル訓練場跡地利用等もあり、やはり適地ではないと思うが。

**基地跡地推進課長** 畜産農家の振興から堆肥センターは必要である。町の活性化を考えると、ネイチャーセンターは必要である。両方も町にとっては重要な施設であると考えている。最先端の施設を導入し、産業振興課も様々な面から検討し

員としての雇用枠はない。現在、金武火力発電所内には維持管理をしている町外の業者が何力所か入っているが、将来、維持管理等を含め一括管理・運営が安定的に出来るような法人を設立をした場合は、地元業者

ての場所選定だと思うので、お互いに支障のないように調整を図っていききたい。

**琉球病院における心神  
喪失者等医療観察法に基  
づく新病等建設について  
地元としての意見は**

**町長** 当事者ではないので、答弁は差し控える

**知名議員** 厚生労働省では心神喪失者等医療観察法に基づき、琉球病院敷地内に新病棟建設を整備するため、同法の制度概要や新病棟の計画について、十一月十二日に説明会を開催したようだが、参加者も少ないようであった。

へ任せたいとの話が出ています。

**その他質問事項**  
・屋嘉塩先原の農道新設について

直接の事業主体は国であるが、受け入れ地元としての意見は。

**町長** 本町は当事者ではないので、答弁は差し控えた。詳細については琉球病院に照会している。

**知名議員** 説明会への参加者数と案内の範囲は。

**保健福祉課長** 参加は住民五人。説明者が厚生労働省から二人、琉球病院から二人。説明会への案内範囲は金武二区二十班から二十三班までの二百二十四戸に文書案内している。

**知名議員** 新病棟建設は地元同意は必要か。  
**保健福祉課長** 絶対的要件

ではないが、指定入院医療機関の運営に際して、地元自治体や関係機関等との連携体制の確保が必要であることから、説明会を開催しているとのことである。

**知名議員** 入院対象者が無断退去した場合の連絡体制等のマニュアルは作成しているのか。

**保健福祉課長** 新病棟開設



仲間 昌信 議員

**旧慣習条例による将来の権利・保障について**

町と各部落民会で協定を結び将来を保障すべきでは

**町長** 相談し、検討する

**仲間議員** 市町村合併を進める中で様々な問題が予測されるが、部落民会の権利保護を確保するため旧慣習

までに作成するという事になっていて、迅速に対応できるように地元警察、関係機関との連絡体制及び、地元住民への連絡体制を確保するということになっている。

**知名議員** 再度、説明会を開催するよう、国へ求めているのか。

**保健福祉課長** 状況を見極めたい。

例に基づき、町と各部落民会で協定を結び、将来を保障すべきでは。

**町長** 部落民会の権利保護については、旧慣条例を堅持していく。協定については将来、合併の話が具体化した段階で各財産管理会や町議会等と相談し、検討したい。

**仲間議員** 現在、公有財産

になっていて、昔は各財産管理会の所有になっていたようである。裁判問題に発展した場合に、町が負けた実例も出ていること

から、合併の際に障害となりにかねない問題について、協定を結ぶべきだと思うが。

**町長** 合併に対しては、いかにメリットがあるかを優先に考える必要がある。現段階では合併の具体的な部分もないので、その辺を検討しながら調整を図ってきたい。

**仲間議員** 金武・宜野座・恩納で合併問題（杣山）の件で話し合いをしたことはあるか。

**総務課長** これまで、三町村で話し合ったことはない。

**伊芸十二号線の延長 道路新設について**

新設工事の進捗状況は

**町長** 用地取得が困難

**仲間議員** 伊芸十二号線の延長新設工事は遅々として

進まないが、進捗状況は。  
**町長** 山田川から国道側への方向案で考えていたが、

用地取得が困難なため、別の線形を検討したい。

**仲間議員** ここは通り抜けが出来ないため、バックセガざるを得ない。火災等が発生した場合には、大変なことになる。国道に出る線形は用地取得の面から厳しいとのことだが、担当課は地主に説明を行ったか。

**建設課長** 区長を通じて相談をしたが、将来宅地にするということでも断られたので、十六号線と繋ぐという案で検討している。

**仲間議員** 時間をかけず、はやめに設計し、住民サーブスを行って欲しいが。

**町長** 行き止まり道路については常々、万が一の火災・災害等が発生したときのことを考えると、なくさなくてはならないと考えている。そういった面から、迂回できる線形を早急に検討し早急な対応をとっていききたい。



町道伊芸12号線



東 寛治 議員

**屋嘉土地改良区内における町有農地の有効利用について**

屋嘉土地改良区内の遊休地面積は

**農務局長** 八・八ヘクタール

**東議員** 屋嘉土地改良区内には、基盤整備の完了した

その他質問事項  
・体験学習事業の取り組みについて

約六〇ヘクタールの優良農地があるが、遊休地や耕作放棄地の面積はどれくらいあるか。

**農業委員会事務局長** 平成十七年五月十二日の遊休地調査の結果、筆数四十筆、面積八・八ヘクタール。

**東議員** 屋嘉土地改良区内には、基盤整備の完了した約六〇ヘクタールの優良農地があるが、遊休地や耕作放棄地の面積はどれくらいあるか。

**農業委員会事務局長** 平成十七年五月十二日の遊休地調査の結果、筆数四十筆、面積八・八ヘクタール。

**東議員** この内、利用権設定されているながら、遊休地になっている土地や耕作放棄地はどれくらいか。

**農業委員会事務局長** 遊休地は二十二筆、十六名が利用権設定されている。うち、一筆一名の利用権の契約が切れている。

**東議員** 基盤整備がなされているものを効率的に活用することによって、農業振興と所得向上という事業目的が達成されると思うが、長期にわたって遊休・放棄されている原因は何か。

**農業委員会事務局長** 農家の高齢化や農産物の価格低離農が原因と思われる。

**東議員** 屋嘉の農業認定者八人に対する農地の集積面積は。また、目標の達成がなされているか。

**産業振興課長** 認定八農家については約一ヘクタールの面積を所有している。当初計画では労働時間二千時間、所得額五百万円ということであったが、到達していない。今後、設定の在り方を検討したい。

**町長** 国の新たな基本計画は、担い手農家の認定農業者への誘導、小規模については本町の主要農作物を主

**町長** 国の新たな基本計画は、担い手農家の認定農業者への誘導、小規模については本町の主要農作物を主

**町長** 国の新たな基本計画は、担い手農家の認定農業者への誘導、小規模については本町の主要農作物を主

**食糧・農業・農村基本計画に基づく担い手の育成方針について**  
**集落営農組織育成方針は**

**町長** 本町の主要農作物を主に集落単位で育成

**東議員** 従来の農業基本法を見直し策定された食糧・農業・農村基本計画では、担い手と呼ばれる大規模経営農家に絞り、農家所得を補償する直接支払制度が二〇〇七年度より導入される

が、制度の対象となる中核農家の育成方針と対象外の小規模農家で構成する集落営農組織の育成方針は。

**町長** 国の制度改革に伴い、現在、農業基盤強化促進基

本構想の見直しを進めており、担い手農家の認定農業者への誘導、小規模については本町の主要農作物を主に集落単位で営農組織を発生させ育成に努めていく。

**東議員** 地域における中核的農家の育成については、農業経営基盤強化促進法に基づく町の基本構想において、育成すべき担い手としての認定農業者育成目標、農業経営の規模生産方式、営農類型ごとの指標及び認定農業者に対する農地利用の集積目標が設定されていると思うが、今回、国が作成した計画とはどの様に

連するか。

**町長** 国の新たな基本計画では、担い手への支援が実施される。本町の新たな農業基本構想では、認定目標達成可能な営農類型を策定し、これに必要な営農面積を担い手へ集約したい。各種経営施策が展開できるように国の基本計画と連動させた町の基本構想を策定したい。



伊芸 武吉 議員

**基地問題について**

頭越しに決定した米軍再編についての意見は

**町長** 強い憤りを感じる

**伊芸議員** 在日米軍の再編中間報告では、全体的に北部地域の基地集約であるが、地元を無視し頭越しに決定したことについて、町長の意見は。

**町長** キャンプ・ハンセン

**町長** キャンプ・ハンセン

**その他質問事項**  
・高齡農業者活動支援対策について  
・農地貸付要件の緩和について

は現在も実弾演習場であることから、レンジが多数存在し演習が過密状態であることから、米軍と自衛隊との共同使用は基地強化に繋がり、受入の容認はできない。

**伊芸議員** 中南部の基地を北部に集約する流れだが、牧港補給基地・那覇軍港を返還し、キャンプ・ハンセン、キャンプ・シユワブに移転するという話だが。

**町長** 北部地域への基地機能の集約を図るものであり容認できない。

**伊芸議員** 町長は、防衛庁長官、防衛施設庁長官、外務大臣が来県した際、再編に対する対談したようだが。

**町長** 北原防衛施設庁長官は来町し、資料等に基づいて説明を受けた。額賀防衛庁長官へは北部十二市町村長との意見交換会で意見を述べた。麻生外務大臣へは沖縄県基地所在市町村長との懇談会の中で意見を述べた。

**伊芸議員** 新聞報道で町長は硫黄島を視察した旨の報道がなされていたが、目的は何か。

**町長** 中間報告で、キャンプ・ハンセンでの自衛隊との共同使用の件があり、硫黄島の見知を得ることを目的として参加した。訓練等の説明は受けていない。

**伊芸議員** 政府は、振興策の話を出しているようだが、聞いているか。

**町長** 聞いていない。

**伊芸議員** 基地と振興策は別で進める考えは。

**町長** その様に進める。

**基地経済の把握について**

基地経済を把握するための調査計画はないか

**町長** 今後、検討したい

**伊芸議員** 米軍再編で大幅な兵力削減・基地返還が検討されている中、計画的に整理縮小を進めるために基

地経済の実態を把握するための調査計画はないか。

**町長** 普通会計における基地関連収入については毎年度把握しているが、米軍人

軍属の消費支出等、全体的な経済実態は把握していな



山城 清盛 議員

**廃棄物最終処分場の進捗状況について**

調停項目に対する対応は

**町長** 制度上、非公開のため答弁は差し控える

**山城議員** 町と宜野座村が

計画している一般廃棄物処分場について、地域住民

二百四十八人が公害調停を申請しているが、その中で

あげられたゴミ処理場の周辺環境調査の追加実施や土壌調査、埋設物の成分調査、水質調査等の調停項目に対

い。今後、どのような形での調査が可能なか検討したい。

**伊芸議員** 町の歳入以外にどの程度の収入があるのかという面を調査することも必要と思うが。

**町長** この様な調査は多岐

して、町は今後どの様に対処していくのか。

**町長** 現在、弁護士と調整中である。詳細については制度上、非公開となつてい

るので現段階での答弁は控えない。

**山城議員** 町長は、過去に「現在埋まつているゴミは掘り起こさずに建設を進め

る」との答弁をしているが、現在の処理技術は向上して

おり、四十年以上埋まつているゴミを掘り起こし、適切に処理が出来ないという理由は何か。

**生活環境課長** ゴミの上

にわたるかと思う。個人の経営するアパート・マンション等からの収入、その他購買等の収入関係もあることから、調査方法等も含めて検討し、担当課の方に指示して進めていきたい。

正で、既存のゴミを動かすことにより、酸素が供給されてガスが発生する恐れがあることや、降雨時に様々な物質が流れ出す可能性もあるのでは、なるべく動かさないようにとのことである。

**山城議員** 既存ゴミの撤去・無害化は考えていないということか。

**生活環境課長** 平成七年に

ゴミ処分場が返還された際にも米軍のゴミについてどうするか協議をしたが、途中で途切れた経緯がある。

その後、町が一定期間使うことになっており、そのまま使っている。そのゴミを攪拌すると汚泥等が下流

を攪拌すると汚泥等が下流

に流れる可能性がある。その前に処分場を建設して、水処理を行いたい。それで米軍の捨てたゴミの処分に ついては、国に求めていく 考えである。

**山城議員** 過去に開催された計画説明会にて、住民から「健康に関することなので、不安を持っている」「ゴミのリサイクルや減量化など、町民の意識改革にも取り組んで欲しい」、「説明を聞いたからといって区民は賛成しているわけではない」という様な意見が出ているが、どの様に受け止めるか。

**町長** 今、公害調停の申請が出されているものについては、精査しないといけないと考えている。県の公害審査会から調停手続き通知書もいただいて、現場踏査に来る話もある。それについては誠意を持って対応したい。処理の方法として、県内では旧具志川市が行っている不透

水槽まで鉄板やコンクリート等を打ち込み、ふたを閉めるようなやり方以外に事例はない。

国から指導等もあり、町としては水処理できる施設を建設して対応していきたい。詳細については、弁護士と調整しながら進めていきたい。



町長 現一郎

癒しの里づくり  
ビジョンについて

花いっぱい運動推進方策は

**町長** 行政、町民等が一体となった取り組みが必要

**外間議員** 本町の『基地のまち』というイメージを払拭するため、花いっぱい運動を推進し、自然とのふれあいを大事にする花と緑輝く癒しの里づくりを実現するためには所見を伺いたい。



中川塵芥処理場

**町長** 花いっぱい運動の推進については、行政、町民等が一体となった取り組みが必要だと考える。

**外間議員** 指定管理者制度を導入した民活（NPO法人等）による方策は。

**町長** 苗畑の機能を活かしながら、事業実施可能な団体等があれば検討していきたい。

**外間議員** 先進地を参考に、推進協議会等による民活の組織結成はあるか。

**町長** 他市町村の実態を踏まえ、本町に合った手法や形態を検討したい。

**外間議員** 各地域にモデル花壇や通り並木（花木）、利用されていない公園の美化強化をしようか。

**町長** 現在、モデル花壇としての指定はしていないが、町公共駐車場前、渡慶頭原地区、屋嘉ビーチ前バス停付近、中川バス停等、各区内において町民や関係団体が継続的に管理をしている。通り並木や公園の美化については、今後検討したい。

**外間議員** シルバー人材等各団体を網羅した啓蒙活動、花いっぱいコンクール、イベント等を開催する計画はあるか。また、専任職員の配置は考えていないか。

**町長** イベント開催等については関係機関と調整を図り、進めていきたい。専任職員の配置については、現段階では検討していない。

**外間議員** 町花はサクラが指定されているが、草花も指定をしてもいいのではな

いか。例えば金武町の町名にちなんだものなどを指定して、町民に愛着を持ってもらうのはどうか。

**町長** この件も常々考えているが、現状では決定に至っていない。金武町の名前が付くものがないのか、金色に輝いている花があるのかなど、いろいろな発想は持っている。今後、産業振興課を中心にネーミング等も含めて、どの様な花があり、草花がふさわしいのか検討させたい。

**外間議員** 緑化事業、林業行政について、マスタープランの進捗状況と達成度を見直しする時期に来ていると思うが。

**町長** 平成五年に策定された金武町総合緑化計画を踏まえ、町内の緑化推進を適宜実施している。策定から十年以上も経過しているの

で、見直しの検討を行いたい。  
**外間議員** 名木の登録簿を

整備し、重点管理してはどうか。

**町長** 本町では、『観音寺のフク木』が平成十六年度に沖繩の名木百選に認定されている。今年度においては、『伊芸のガジユマル』を認定申請中である。当面、県の名木百選への認定を図り、関係課、所有者と連携をし



仲間 政治 議員

**ヘリパッドの移設及び演習について**

移設について町長の方針は

**町長** 議会、住民へ説明を  
行いたい

**仲間議員** S A C O合意に伴うヘリパッドの移設が取りだされたれているが、町民の不安は積もる一方である。住宅地域や教育施設の上空を長時間巡回したり、都市

て管理できるように検討したい。



地域住民が管理をしている花壇  
(渡慶頭原地区)

型訓練施設と連動した演習が実施されている状況であるが、町長のブルービーチへのヘリパッド移設についての方針は。

**町長** 米軍ヘリの運用状況について、那覇防衛施設局を通じて米軍へ問い合わせを行ってきたが、具体的な回答を得られなかった。先般、在沖海兵隊からヘリの運用状況に関する情報提供についての回答が得られたので、訓練内容、頻度、飛行ルート等を照会中である。早急に資料提供を求め、議会、

地域住民へ説明を行いたい。  
**仲間議員** 都市型訓練施設と連動した訓練にはどう対応するか。

**町長** レンジ4のヘリパッドは施設が建設される以前から存在し、連動した訓練は行われていないとの説明を受けている。今後そのような訓練が実施されたら、中止に向けて取り組んでいく。

**仲間議員** 沖国大でのヘリ墜落事故以降、住民は危険を感じて敏感になっている。そんな中、米軍が民間地域でヘリから宙づり訓練を行っているが、移設に対する町長の方針は。

**町長** 那覇防衛施設局が説明した4パターンはあくまでもギンバル訓練場を中心とした訓練である。それ以外にはキャンプ・ハルセン内で行っている訓練やブルービーチだけの訓練、普天間を歩き来している訓練等もあるかも知れない。

い。そういった全体的な頻度、主要機種等を明らかにし、ギンバル、ブルービーチでどういった形ができるのか再編問題等をの推移を見ながら決断が迫られるものだと思う。

**中川の最終処分場の件  
建設に与える影響は**

**町長** 着手が遅れる見込み

**仲間議員** 中川の最終処分場の建設に対する公害調停によって、処分場建設に与える影響は。

**町長** 公害調停が約1年を要することから、着手が遅れることが予測される。

**仲間議員** 宜野座村の対応はどうか。

**町長** 事業主体が本町であるため、町で事業を進めているが、城原区への説明は双方で月1回程度、連絡協議会を開催し、連携を図っている。  
**仲間議員** 調停を申請した

方はどういったことを求めているか。

**町長** ①既設処分場の水質・底質・土壌調査の追加実施。②埋設物の成分及び浸出水の水質調査等の実施。③第三者による調査の実施。④既存の埋設物の撤去と無害化措置の実施。⑤埋設物の撤去・無害化に伴う公害・災害の防止。⑥金武地区一般廃棄物最終処分場の建設中止。⑦損害の賠償。⑧協議会の設置。

**仲間議員** 区と合意に達したとの話は。

**町長** 区から同意を得ている。調停を起している方々は、町が実際調査したことを知らずに求めていることもあり得るので、弁護士と調整し進めていくが、その分は建設が遅れるという認識を持っている。

**その他質問事項**

・硫黄島視察について

# 町議会議員研修会を開催

平成17年12月5日(月)役場大ホールにおいて、日米地位協定に関する議員研修会を開催しました。

研修会は二部構成で行われ、第1部は国内外の地位協定等に詳しい沖縄タイムス社の屋良朝博氏を講師に招き、「国内外の地位協定に関する事例等」について、第2部では日米安全保障問

題等に詳しい琉球大学法文学部教授の我部政明氏を講師に招き、「日米地位協定の問題点等に関することについて」というテーマで研修を行いました。

研修終了後は、両講師と議員、当局を交え地位協定諸問題に関する意見交換が行われました。



屋良 朝博 氏



研修の様子



我部 政明 氏

## 第11回 定例会

平成17年11月28日(月)に招集された臨時会では、一般会計補正予算(第5号)、有線・国保特別会計補正予算、職員の給与に関する条例の一部改正など、8議案を審議し、すべての議案を原案のとおり可決した。

議案番号	件 名	議決結果
議案第65号	平成17年度金武町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第66号	平成17年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第67号	平成17年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第68号	金武町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第69号	金武町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第70号	金武町教育長の給与、勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第71号	金武町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第72号	専決事項の指定について	原案可決